

緑化優良工場等内閣総理大臣賞受賞工場の功績概要

令和8年4月
産業部産業課

エスペック株式会社 神戸R&Dセンター

所在地：兵庫県神戸市北区鹿の子台南町 5-2-5

H P：<https://www.espec.co.jp/>

業 種：環境試験器製造業

操業開始：平成13年（2001年）3月

資本金：6,895百万円

従業員数：218人（2025年4月）

受賞歴：令和3年（一財）日本緑化センター会長賞

令和4年 近畿経済産業局長賞

令和6年 経済産業大臣賞

令和8年 緑化推進運動功労者内閣総理大臣賞

- エスペック株式会社は「持続可能な社会の実現に事業で貢献する環境経営」を掲げ、生物多様性保全をはじめとするさまざまな取り組みを推進している。
- 受賞工場である神戸R&Dセンターは、「人と生きものが共生する事業所づくり」を実践している。基本コンセプトは「その土地本来の自然の姿を少しでも回復させる」とし、土地本来の在来種にこだわった、森、ビオトープ、屋上草地が一体につながる1.5haの空間を創出した。そのなかで、多種多様な生きものが集い、社員が憩う場所として、また、次世代を担う子どもたちに環境教育を行う場として活用している。
- 神戸R&Dセンターの外周を覆う「エスペックの森」は、1999年から社員およびサプライヤーが植樹した約65種類、30,000本の木で構成されている。これまで200t以上の二酸化炭素を固定したことが分かっている。また、屋上緑地では地域性在来種100%で構成される草地づくりを行い、希少種を含む約30種類以上の植物を大切に育てている。
- 屋上緑地では準絶滅危惧種であるスズサイコを植栽し、ヒバリの産卵・孵化が確認されている。また、事業所内ビオトープでは市民団体と連携したニホンミツバチの保護活動と養蜂に取り組むとともに、兵庫県立大学と連携した絶滅危惧種「ニッポンバラタナゴ」の繁殖実験を実施している。このように植物にとどまらず希少生物の保護活動にも積極的に取り組み、生物の生息空間の保全に貢献している。
- 社内で緑地の管理を担当する「ビオトープ委員会」を設置し、業務の一環として継続的に維持管理を実施している。さらに、植物が繁殖する春から夏にかけては、週に1回、工場従業員が緑地の手入れを行う時間を設けるなど、社員一丸となって環境保全活動に取り組むことで、従業員の環境教育にも繋がっている。
- 森づくりの方法や森の機能を学ぶ環境学習プログラムを実施し、近隣小学校の受入教育、近隣大学のカリキュラムに採用されるなど地域と連携した取組を積極的に行っている。
- 事業所の敷地内外にとどまらず、林野庁法人の森林制度を契約し、兵庫県三田市の国有林3.68haを在来広葉樹で植樹するプロジェクトを開始。さらに、地域の大学と連携し、生物相のモニタリングと定量評価を進めている。
- 直近では神戸R&Dセンターで培った半自然草地の屋上緑化のノウハウが、大阪・関西万博の「静けさの森」や「大屋根リンク」の緑化に活かされた。



(エスペックのビオトープ)



(エスペックの森)